

Windows2000 を使った USB ネットワークについて

2000年5月

【ソフト名】	AtermIT75 シリーズ用 ファームウェア Ver.1.52
【著作権者】	日本電気株式会社
【対応機種】	AtermIT75/D , AtermIT75
【対象ユーザ】	AtermIT75/D , AtermIT75 をご使用のお客様
【作成方法】	Windows 用 自己解凍形式
【転載条件】	転載禁止

もくじ

1. 準備

- 1.1 必要なハードウェア
- 1.2 必要なソフトウェア
- 1.3

2. サーバパソコンが Windows2000 の場合

- 2.1 パソコンの設定
 - 2.1.1 サーバパソコン (Windows2000) の設定
 - 2.1.2 クライアントパソコン (Windows2000) の設定
 - 2.1.3 クライアントパソコン (Windows98/95) の設定
- 2.2 USB ネットワークの使い方
 - 2.2.1 Windows2000 Windows2000 構成
 - 2.2.2 Windows2000 Windows98/95 構成

3. サーバパソコンが Windows98/95 の場合

- 3.1 パソコンの設定
 - 3.1.1 サーバパソコン (Windows98/95) の設定
 - 3.1.2 クライアントパソコン (Windows2000) の設定
 - 3.1.3 クライアントパソコン (Windows98/95) の設定
- 3.2 USB ネットワークの使い方
 - 3.2.1 Windows98/95 Windows2000 構成
 - 3.2.2 Windows98/95 Windows98/95 構成

1. 準備

USB ネットワーク構築のために必要な作業について説明します。

1.1 必要なハードウェア

USB ネットワーク機能を利用するには、以下の機材が必要です。

- ・サーバー用パソコン
- ・クライアント用パソコン

Windows2000/98/95 のいずれかが動作するもの。

1.2 必要なソフトウェア

USB ドライバ、モデム情報

AtermIT75 シリーズで USB ネットワーク機能を使う場合は、USB ポートの使い方が決まっています。

Aterm の背面の USB ポートには、サーバーパソコンを接続し、前面の USB ポートには、クライアントパソコンを接続してください。

また、USB ネットワークを使うための前提条件としては、それぞれのパソコンが、以下の条件を満たしている必要があります。

- ・それぞれのパソコンが、USB ポートを使って Aterm に接続され、利用できる状態になっていること。
- ・サーバーパソコンで、「ダイヤルアップサーバー」が動作していること。

お知らせ

- ・ USB ネットワーク機能は、USB ポートでのみ利用可能です。データポートでは、ご利用になれません。
- ・ AtermIT75 シリーズでは、前面の USB ポートの優先度が高くなっています。ここにパソコンが接続されていると背面の USB ポートに接続されているパソコンからは、USB ネットワーク機能を除いては Aterm を使うことができなくなります。背面の USB ポートに接続されたパソコンから Aterm をご利用になる場合には、前面の USB ポートに接続されているパソコンを外す必要があります。
- ・ USB ネットワーク機能では、前面の USB ポートに接続されたクライアントパソコンから、背面の USB ポートに接続されたサーバーパソコンのファイルやプリンタが利用可能になります。しかし、サーバーパソコンからクライアントパソコンのファイルやプリンタを利用することはできません。
- ・ USB ネットワーク機能は、Windows2000/98/95 のネットワーク機能を利用します。そのため、実現できる機能は、Windows2000/98/95 のネットワーク機能に依存します。

ダイヤルアップサーバープログラム

サーバーパソコンには、ダイヤルアップサーバープログラムをインストールします。このプログラムは、クライアントパソコンからの着信を受け付け、クライアントパソコンと通信を行うものです。

このプログラムは、Windows2000/98 には標準で含まれています。Windows95 には含まれていない場合がありますが、以下のモジュールを入手すれば利用できます。

- ・ Microsoft 社の「Microsoft Plus!」という製品を別途購入する。
- ・ 「ダイヤルアップネットワーク Ver.1.3」という Windows95 のアップデートモジュールを Microsoft 社のホームページから入手する。

http://www.microsoft.com/japan/windows/dun1_3

お知らせ

USB ネットワークでも、プロトコルとして「TCP/IP」を利用することは可能です。しかし、特殊な設定が必要になることと、ネットワークコンピュータにサーバーマシンが表示されないなどの理由で、利用を推奨していません。本書では、NetBEUI のインストールの仕方についてのみ説明します。また、既にインターネットアクセス用に TCP/IP がインストールされている環境に NetBEUI を追加しても問題はありません。

次章からは、Windows の OS ごとに説明します。お使いの OS に合わせてお読みください。

2. サーバパソコンが Windows2000 の場合

2.1 パソコンの設定

2.1.1 サーバパソコン (Windows2000) の設定

サーバパソコンは以下の順番で設定します。

Step1 着信接続を作成する

Windows2000 では、ウィザードを使って、以下のネットワークコンポーネントのインストールや設定、ダイヤルアップ接続させるための設定、ユーザー登録などを一度に行います。

- ・ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
- ・ NetBEUI プロトコル

Step2 ワークグループ名を確認する

Step3 フォルダの共有設定

Step4 プリンタの共有設定

クライアントに公開するファイルやプリンタに共有設定を行います。共有設定をしていないファイルやプリンタは、クライアントからは利用できません(見えません)。

お願い

- ・Windows2000 で以降の設定を行うためには、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンする必要があります。
- ・標準以外のモジュールがインストールされていたり、バージョンアップを行った場合など、以降で説明する画面とは異なる画面が表示されることがあります。その場合は、実際の画面に従って作業を行ってください。

Step1 着信接続を作成する

サーバパソコンにダイヤルアップ接続させるための設定を行います。Windows2000 では、ダイヤルアップサーバ機能を、「着信接続」と呼びます。

お願い

以降の操作をする前に必ず Aterm のモデム情報をインストールしておいてください。

お知らせ

本操作を行っても接続できない場合には、以下の設定を行うと接続できるようになります。ただし、セキュリティに問題がありますのでご注意ください。

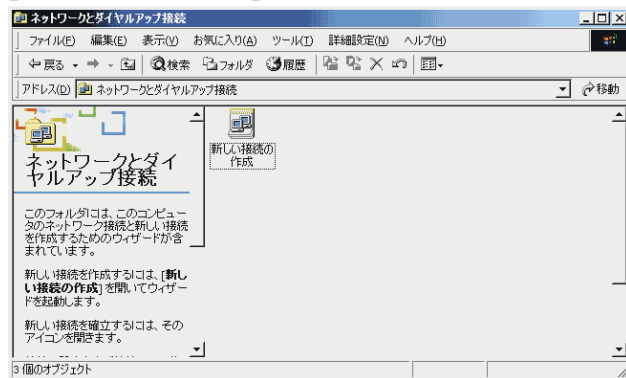
- 1) [コントロールパネル] [管理ツール] [コンピュータの管理] をダブルクリックする。
- 2) [システムツール] [ローカルユーザとグループ] [ユーザー] をクリックする。

3) [Guest] を選択し、プロパティを開く。

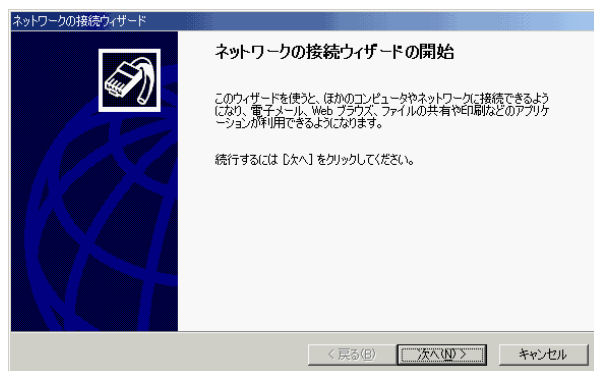
4) [全般] タブを選択し、[アカウントを無効にする] のチェックボックスを外す。

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする。

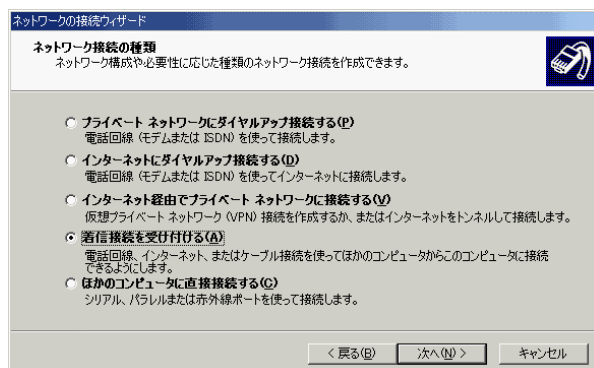
2. [新しい接続の作成] アイコンをダブルクリックする。



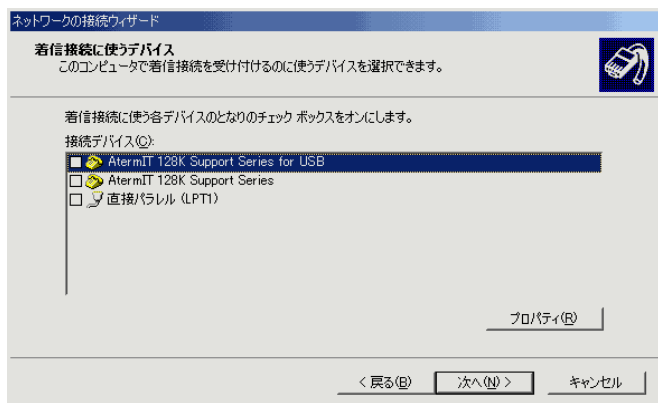
3. ネットワークの接続ウィザードが開始されたら、[次へ] ボタンをクリックする。



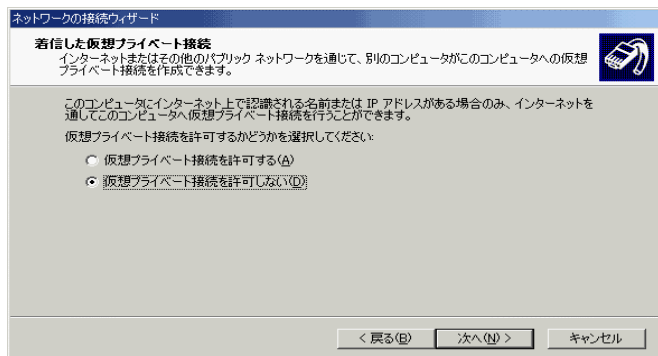
4. ネットワーク接続の種類から [着信接続を受け付ける] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。



5. 接続デバイスから、接続しているポートに対応した **Aterm のモデム情報 [AtermIT 128K Support Series for USB]** をチェックし、**[次へ]** ボタンをクリックする。

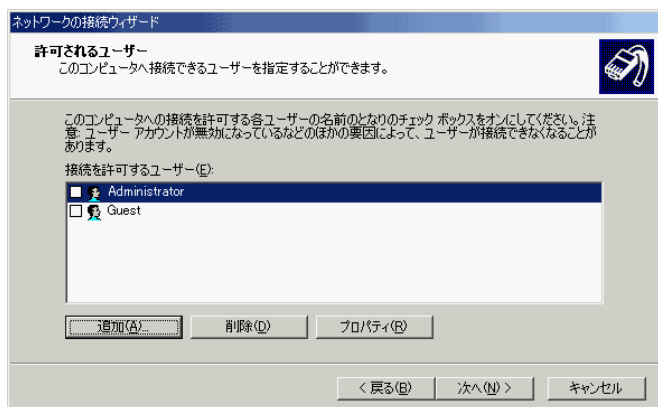


6. **[仮想プライベート接続を許可しない]** を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックする。



7. **[追加]** ボタンをクリックする。

着信させたいユーザー名が表示されている場合は、チェックするだけです。

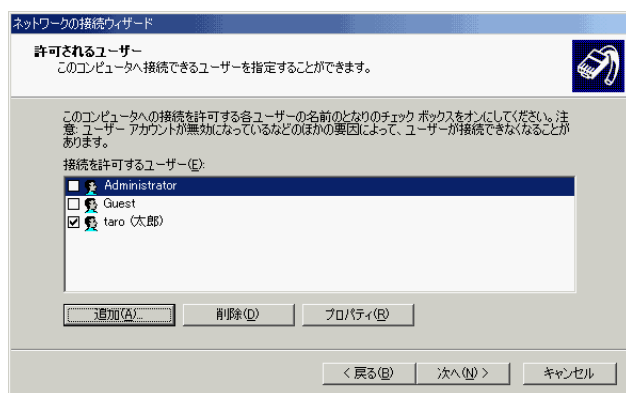


8. **ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

パスワードの確認入力には、パスワードと同じものを入力してください。ここで設定したユーザー名とパスワードを、クライアントパソコンからのダイヤルアップ接続時に指定します。複数のユーザーを登録する場合は、手順 7、8 を繰り返してください。



9. **すべてのユーザーを追加したら [次へ] ボタンをクリックする。**



10. **現在のネットワークコンポーネントを確認し、足りないときはインストールする。**

(すべてそろっているときは、手順 17 へ進む)

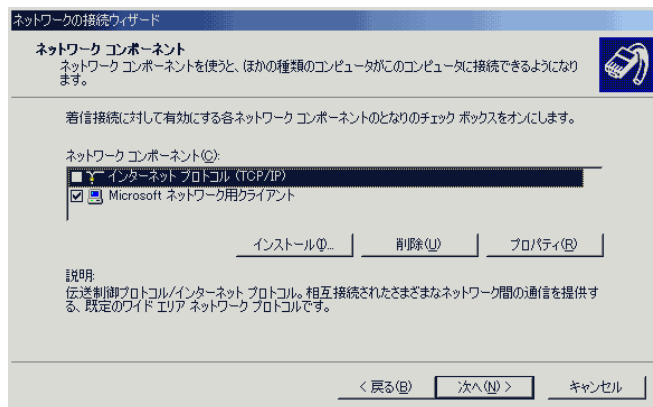
以下のネットワークコンポーネントにチェックが入った状態にします。不足のものはインストールします。

[NetBEUI プロトコル]

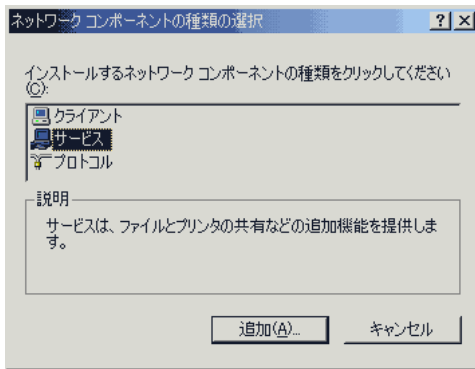
[Microsoft ネットワーク用クライアント]

[Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有]

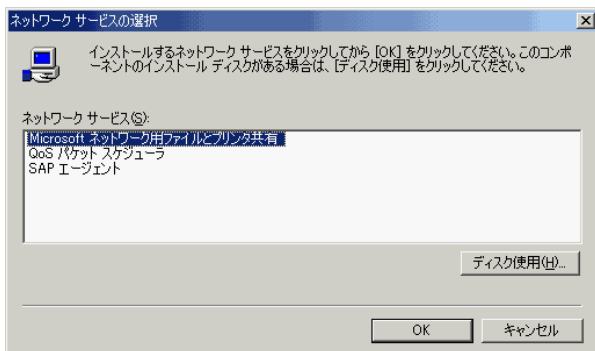
ここでは、[Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] と [NetBEUI プロトコル] をインストールします。



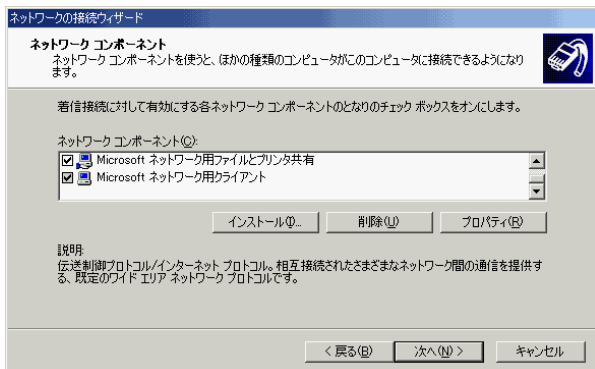
11. [サービス] を選択し、[追加] ボタンをクリックする。



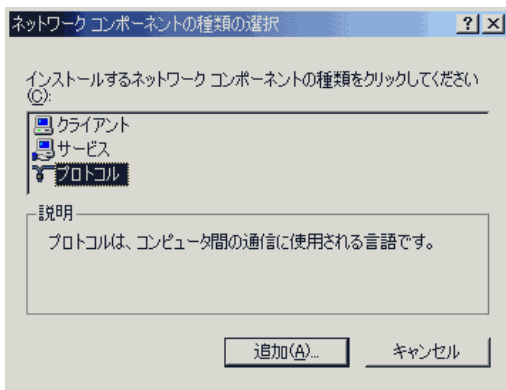
12. ネットワークサービスから、[Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] を選択し、[OK] ボタンをクリックする。



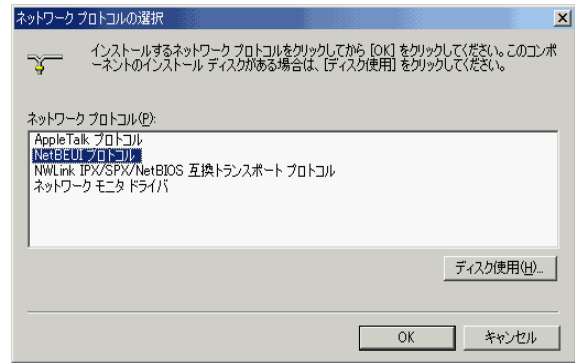
13. [インストール] ボタンをクリックする。



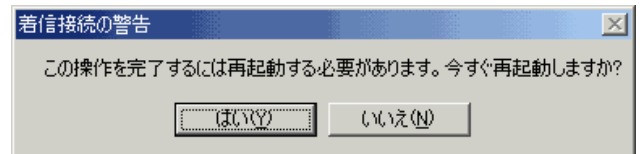
14. [プロトコル] を選択し、[追加] ボタンをクリックする。



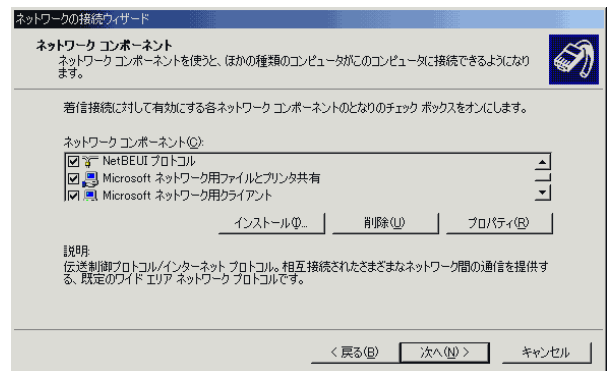
15. [NetBEUI プロトコル] を選択し、[OK] ボタンをクリックする。



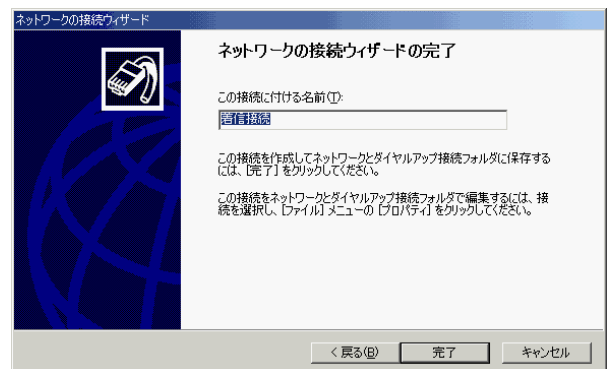
16. 再起動のメッセージが出て、[いいえ] ボタンをクリックする。



17. 必要なコンポーネントが揃ったら [次へ] ボタンをクリックする。

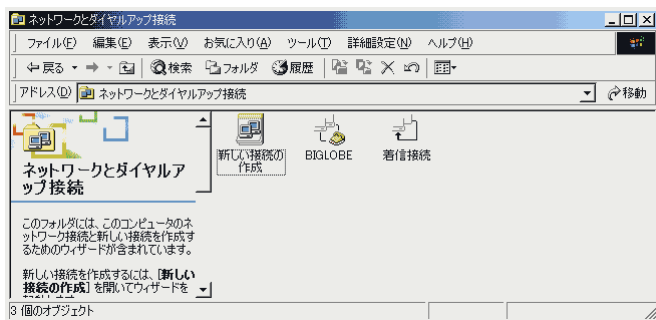


18. [完了] ボタンをクリックする。



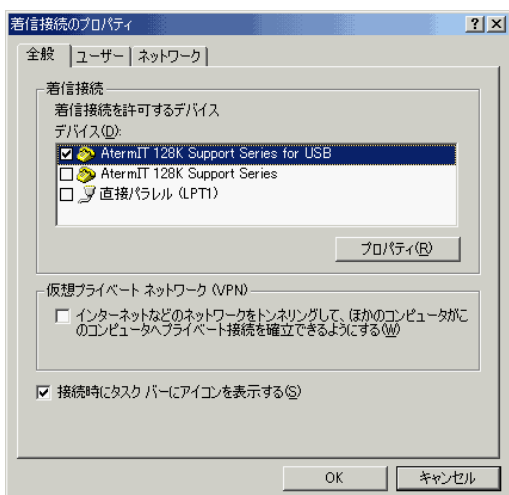
19. Windows を再起動する。

20. 再起動後、[コントロールパネル] から [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする。



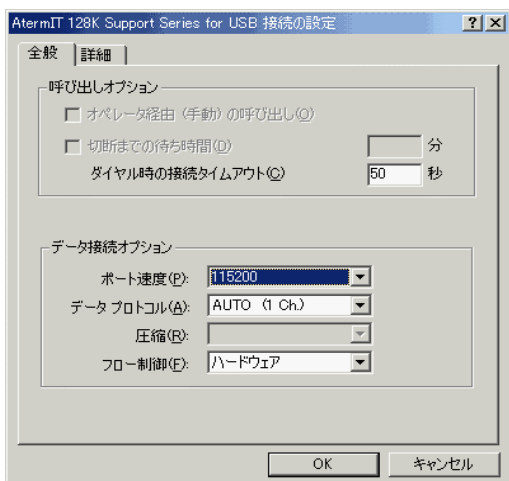
21. 作成した [着信接続] ダイアルアップ接続アイコンをダブルクリックする。

22. [全般] タブで [AtermIT 128K Support Series for USB] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする。



23. データプロトコルが [AUTO(1ch)] となっていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする。

128K で着信させたい場合は、[PPP(128K)] を選択してください。



24. [OK] ボタンをクリックする。

お知らせ

USB ネットワーク用に着信接続を作成した場合でも、Aterm のデータポートに着信があり、Aterm が着信可能な状態になっていると、外部からの接続が行われてしまいます。パスワードが一致しないと接続できませんが、セキュリティ上、INS ネット 64 側から接続されたくない場合は、データポートへの着信を禁止する必要があります。

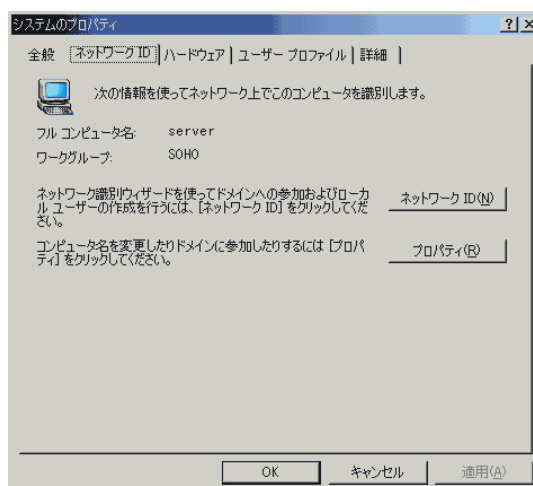
Step2 ワークグループ名を確認する

クライアントパソコンでサーバーパソコンと同じワークグループ名を指定する必要があるため、サーバーパソコンのワークグループ名を確認します。

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] [システム] アイコンをダブルクリックする。



2. [ネットワーク ID] タブをクリックする。ワークグループ名を確認します。



3. [OK] ボタンをクリックして閉じる。

お知らせ

ドライブに対して共有設定をすると、クライアントパソコンからサーバーパソコンのディスクをそのまま利用できるの
で、使いやすくなります。ただし、クライアント側のアプ
リケーションから直接サーバーパソコンのファイルにアクセ
スするに設定した場合、サーバーパソコン側でハードディ
スク内のフォルダの位置を変えたり、別のドライブへ移動
させたときにクライアント側のアプリケーションの設定も変
更しなければならないことがあります。

フォルダ単位で共有設定する場合は、クライアントから
見える名前（共有名またはシェア名といいます）はハード
ディスク上のフォルダ構成の影響を受けません。

Step3 フォルダの共有設定

ファイルの共有を行うためには、サーバーパソコンで
共有設定を行います。共有設定では、クライアントから
見える共有名を付けたり、アクセスさせるユーザーや
その権利などを設定します。共有を設定する単位は、
ドライブまたはフォルダです。

1. エクスプローラを開いて共有させるフォルダを右
クリックし、メニューから [ファイル] [共有] を選
択する。



2. [このフォルダを共有する] を選択し、[OK] ボタ
ンをクリックする。

Step4 プリンタの共有設定

サーバーパソコンに接続してあるプリンタをクライ
アントパソコンからも利用する場合、プリンタの共有
設定を行います。

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル]
[プリンタ] アイコンをダブルクリックする。

現在登録されているプリンタが表示されます。

2. 共有するプリンタアイコンを選択し、メニューから
[ファイル] [共有] を選択する。
3. [共有] タブで [共有する] を選択し、[OK] ボタ
ンをクリックする。
4. 共有設定したプリンタアイコンに手のマークが付き
ます。

2.1.2 クライアントパソコン(Windows2000)の設定

クライアントパソコンは以下の順番で設定します。

Step1 ワークグループ名を設定する

Step2 ダイアルアップの接続先を作成する

Windows2000 では、ウィザードを使って、
以下のネットワークコンポーネントのイン
ストールや設定、ダイアルアップ接続さ
せるための設定を一度に行います。

- ・ Microsoft ネットワーク用クライアント
- ・ NetBEUI プロトコル

お願い

- ・ Windows2000 で以降の設定を行うためには、
Administrator (権限のあるアカウント) で
ログオンする必要があります。
- ・ 標準以外のモジュールがインストールされ
ていたり、バージョンアップを行った場
合など、以降で説明する画面とは異
なる画面が表示されることがありま
す。その場合は、実際の画面に従っ
て作業を行ってください。

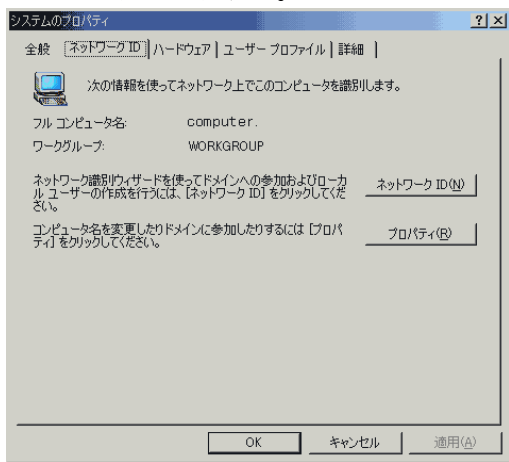
Step1 ワークグループ名を設定する

サーバーパソコンと同じワークグループ名を設定
します。パソコン名はサーバーパソコンと同じ
にならないようにしてください。

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル]
[システム] アイコンをダブルクリックする。

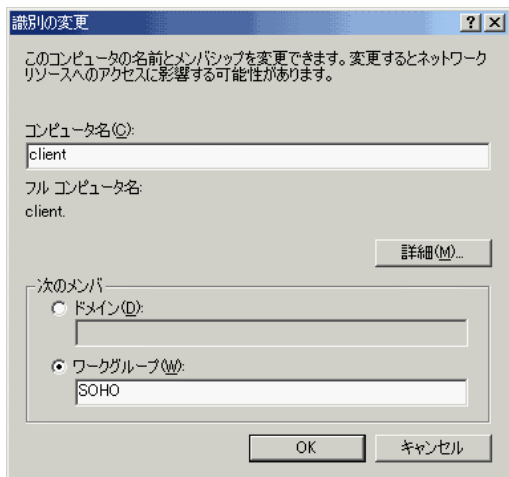


2. [ネットワーク ID] タブをクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックする。



3. ワークグループを入力し、[OK] ボタンをクリックする。

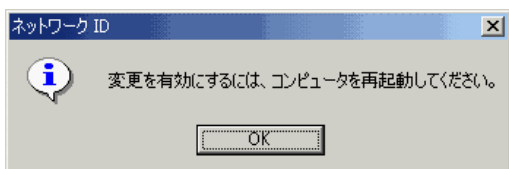
ワークグループには、サーバーと同じワークグループ名を入力します。



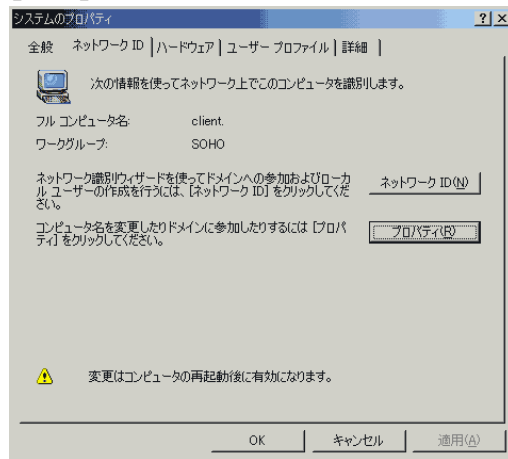
4. 次の画面が表示されたら [OK] ボタンをクリックする。



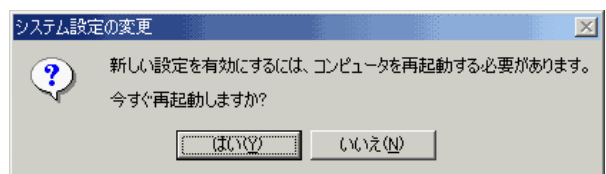
5. [OK] ボタンをクリックする。



6. [OK] ボタンをクリックする。



7. [はい] ボタンをクリックして、Windows2000 を再起動する。



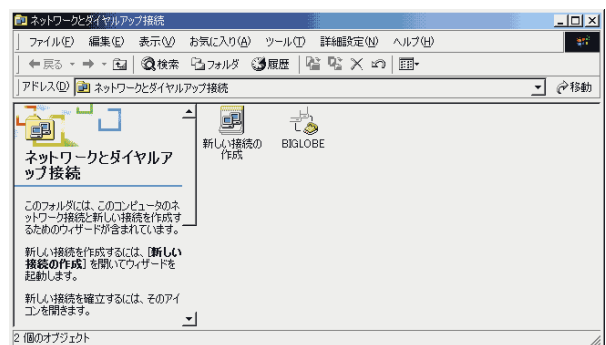
Step 2 ダイヤルアップの接続先を作成する

USB ネットワークのサーバーに接続するためのダイヤルアップ接続を作成します。

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする。

お願い
以降の操作を行う前に、必ず Aterm のモデム情報をインストールしておいてください。

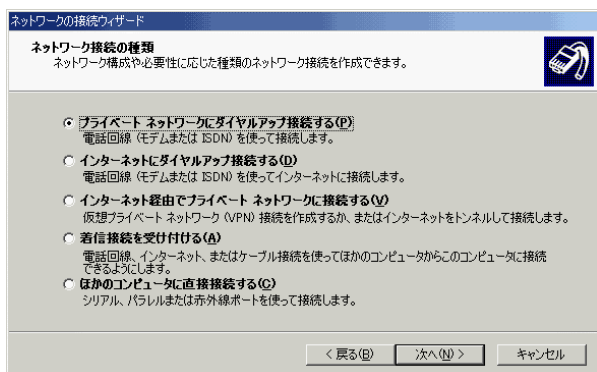
2. [新しい接続の作成] アイコンをダブルクリックする。



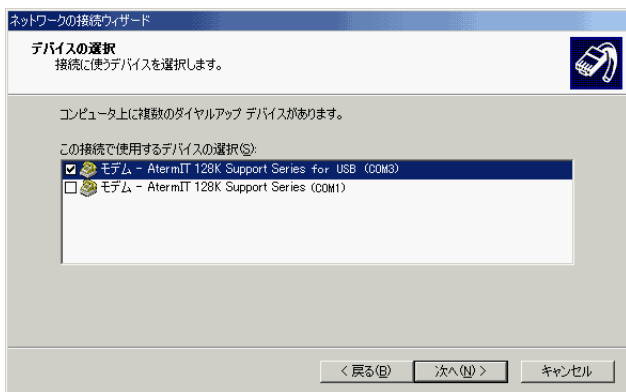
3. ネットワークの接続ウィザードが開始されたら、[次へ] ボタンをクリックする。



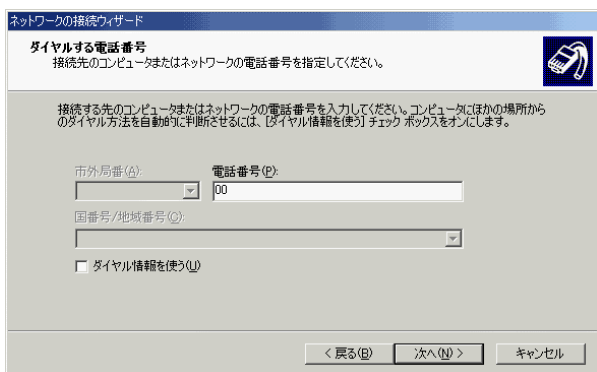
4. ネットワーク接続の種類から [プライベートネットワークにダイヤルアップ接続する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。



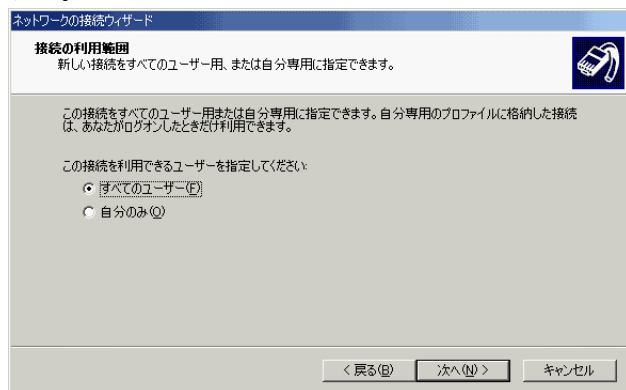
5. 接続しているポートに対応した Aterm のモデム情報 [AtermIT 128K Support Series for USB] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする。



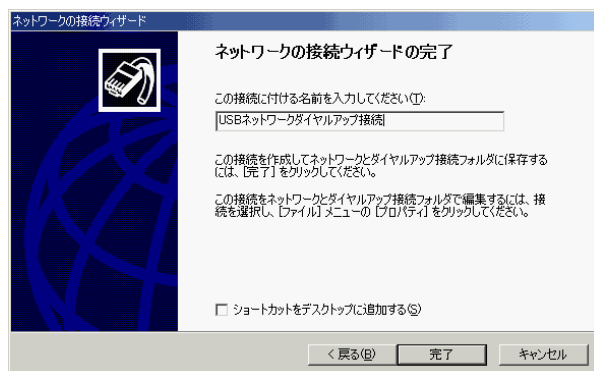
6. 電話番号に「00」を入力し、[次へ] ボタンをクリックする。



7. 利用するユーザを選択し、[次へ] ボタンをクリックする。



8. USB ネットワークなどの名前を入力し、[完了] ボタンをクリックする。

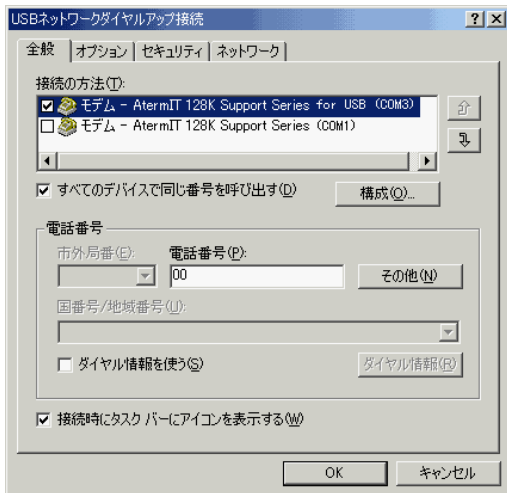


9. 接続画面が表示されたら、[プロパティ] ボタンをクリックする。



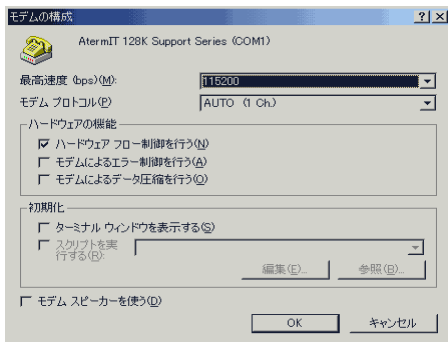
10. [全般] タブで [構成] ボタンをクリックする。

接続の方法に手順 5 で選択したモデム情報が表示されていることを確認してください。複数のモデム情報がある場合は、選択した方にチェックが入っていることを確認します。

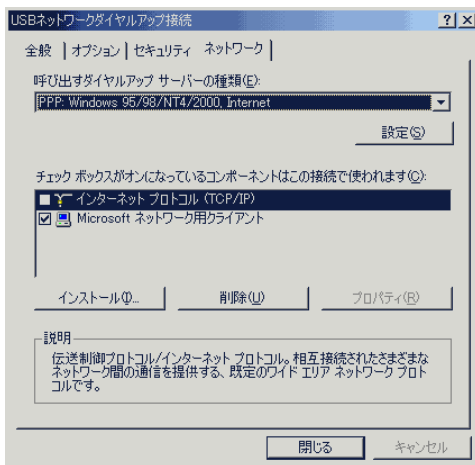


11. モデムプロトコルとハードウェアの機能を選択する。

- 1) モデムプロトコルに [PPP(64K)] を選択する。
- 2) [モデムによるエラー制御を行う]、[モデムによるデータ圧縮を行う] のチェックを外す。
- 3) [OK] ボタンをクリックする。

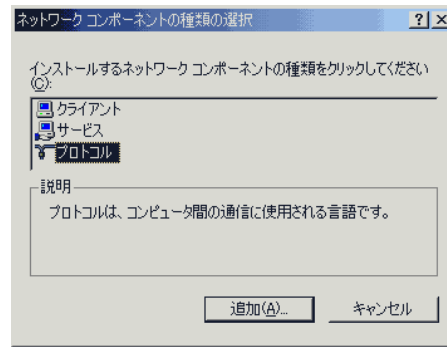


12. [ネットワーク] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] のチェックを外す。

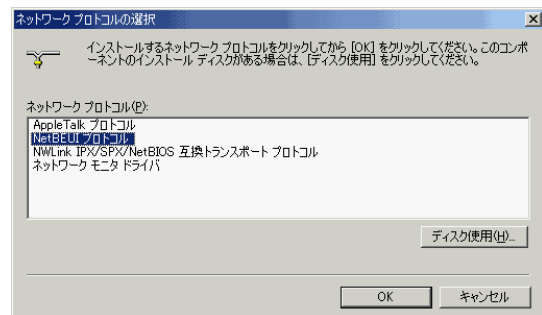


13. NetBEUI プロトコルがないときは [インストール] ボタンをクリックする (あるときは手順 16 へ進む) NetBEUI プロトコルの追加インストールを行います。

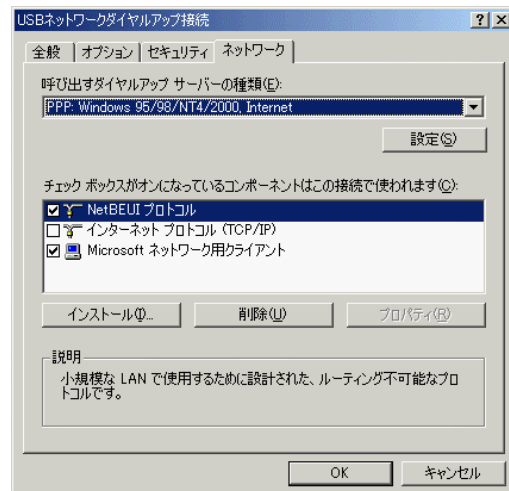
14. [プロトコル] を選択し、[追加] ボタンをクリックする。



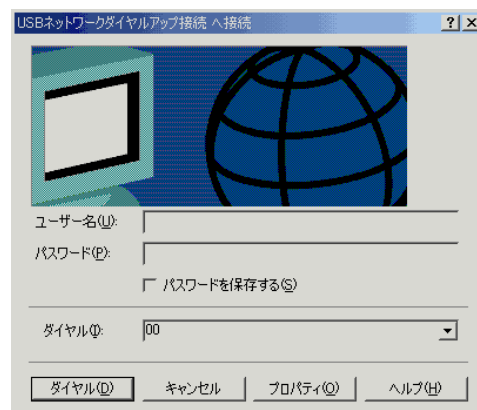
15. [NetBEUI プロトコル] を選択し、[OK] ボタンをクリックする。



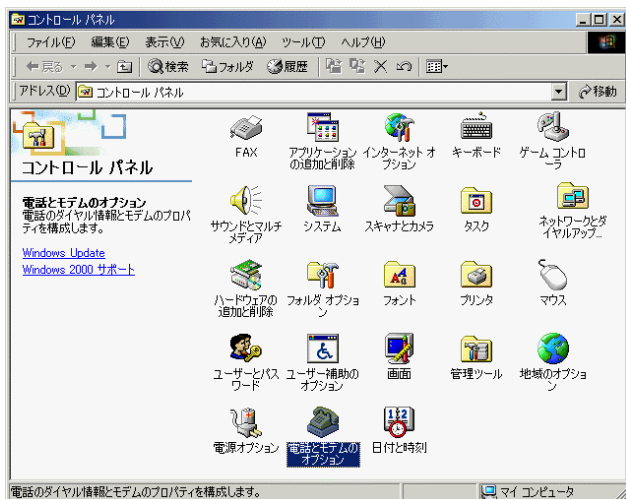
16. 以下の状態になったら、[OK] ボタンをクリックする。



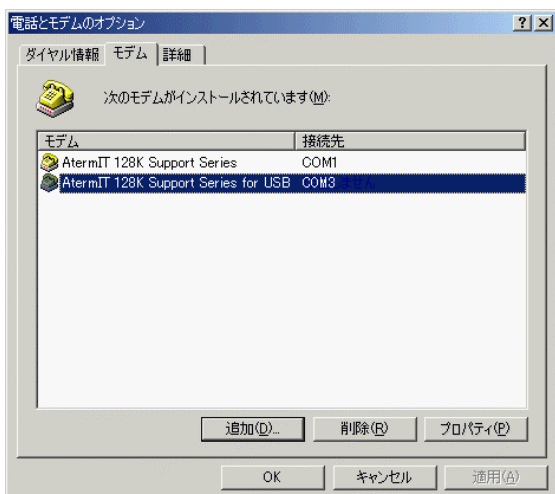
17. [キャンセル] ボタンをクリックする。



18. [スタート] [設定] [コントロールパネル] [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックする。



19. [モデム] タブで [AtermIT 128K Support Series for USB] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする。



20. [詳細] タブをクリックする。



21. [追加の初期化コマンド] 欄に「ATS0=0」コマンドを入力する。

22. [OK] ボタンをクリックする。

23. [OK] ボタンをクリックする。

24. [コントロールパネル] を終了する。

2.1.3 クライアントパソコン(Windows98/95)の設定

クライアントパソコンとして Windows98/95 を使う場合は、以下の順番で設定します。

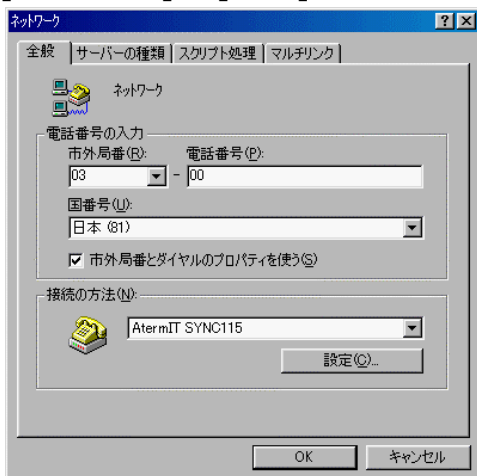
- Step1 NetBEUI プロトコルをインストールする
- Step2 コンピュータ名を設定する
- Step3 ダイヤルアップネットワークの接続先を作成する

ここまでの設定の詳細な手順については、取扱説明書を参照してください。

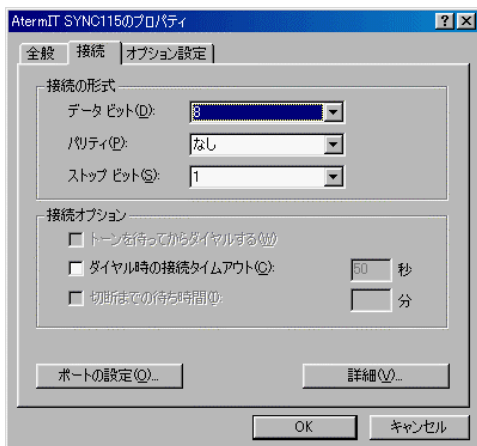
Step4 追加コマンドを設定する

サーバーパソコンが Windows2000 の場合には、追加コマンドを設定してください。下記に Windows98 での例を示します。

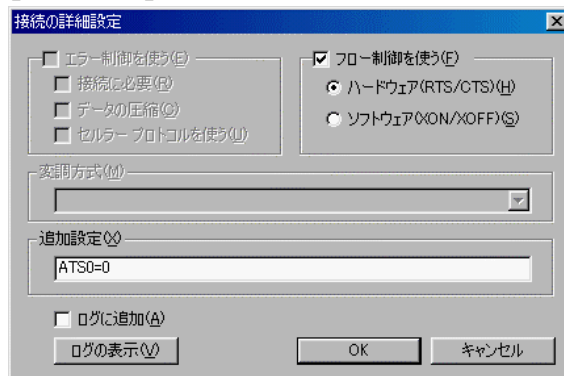
- 1. Step3 で作成したダイヤルアップネットワークの接続先のアイコンを選択し、マウスの右ボタンをクリックする。
- 2. [プロパティ] を選択する。
- 3 [接続の方法] の [設定] ボタンをクリックする。



- 4. [接続] タブを選択し、[詳細] ボタンをクリックする。



- 5. [追加設定] 欄に、「ATS0=0」コマンドを入力する。



- 6. [OK] ボタンをクリックする。
- 7. [OK] ボタンをクリックする。
- 8. [OK] ボタンをクリックする。
- 9. [キャンセル] ボタンをクリックする。

2.2 USB ネットワークの使い方-----

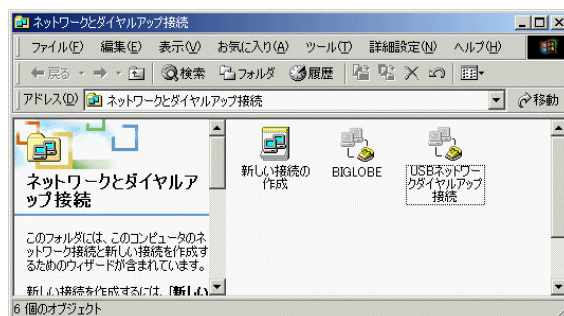
2.2.1 Windows2000 Windows2000 構成

設定完了後、USB ネットワークを使ってみましょう。

Step1 USB ネットワークを開始する

USB ネットワーク機能を使うには、クライアントパソコンからダイヤルアップでサーバーパソコンに接続します。基本的な接続手順はインターネットプロバイダなどに接続する場合と同じです。

- 1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする。
- 2. 作成したダイヤルアップアイコンをダブルクリックする。
例では「USB ネットワークダイヤルアップ接続」をダブルクリックしています。



3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ダイヤル]ボタンをクリックする。

サーバー側の着信接続作成時に登録したユーザー名とパスワードを入力します。

電話番号が「00」になっていることを確認してください。



4. 接続される。

タスクバーに[ダイヤルアップ]インジケータが表示されます。

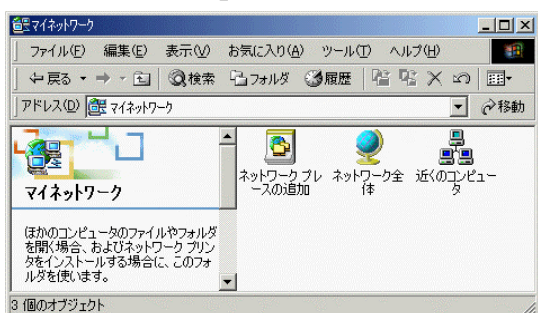
お知らせ

接続するとサーバー側にもダイヤルアップインジケータが表示されます。

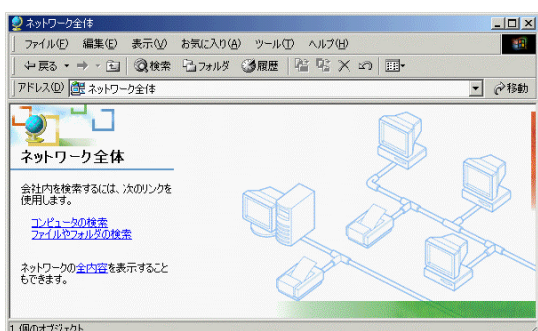
Step2 共有フォルダを使う

接続後、サーバーパソコンを検索して開くと、共有フォルダを利用できます。

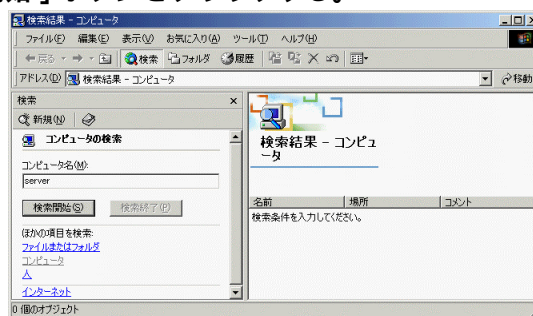
1. デスクトップの[マイネットワーク]アイコンをダブルクリックする。
2. [ネットワーク全体]アイコンをダブルクリックする。



3. [コンピュータの検索]をクリックする。



4. サーバーパソコンのコンピュータ名を入力し、[検索開始]ボタンをクリックする。



5. サーバーパソコンが検索されたら、パソコンのアイコンをクリックする。

6. 共有フォルダや共有プリンタが見える。

7. フォルダをダブルクリックする。

中のフォルダが見えます。デスクトップ上にコピーしたり、逆にクライアント側で作成したファイルやフォルダをここにコピーできます。

Step3 共有プリンタを使う

接続後、サーバーパソコンを検索して開くと、共有プリンタのアイコンが見えます。最初に使用するときは、以下の手順でプリンタをネットワークプリンタとしてインストールします。

1. 「Step2 共有フォルダを使う」の手順1~6を行う。
2. 共有プリンタのアイコンをダブルクリックする。
プリンタ設定のメッセージが表示される。

3. [はい]ボタンをクリックする。

4. [X]ボタンをクリックして閉じる。

Step4 ネットワークを切断する

ダイヤルアップ接続を切断すると、USB ネットワークが終了します。サーバーパソコン、クライアントパソコンどちらからでも切断できます。

1. クライアントパソコン、サーバーパソコンのいずれかで[ダイヤルアップインジケータ]をダブルクリックする。
2. [切断]ボタンをクリックする。

設定完了後、USB ネットワークを使ってみましょう。

Step1 USB ネットワークを開始する

USB ネットワーク機能を使うには、サーバーパソコンに登録したユーザー名とパスワードでログオンしたあと、クライアントパソコンからダイヤルアップでサーバーパソコンに接続します。基本的な接続手順はインターネットプロバイダなどに接続する場合と同じです。

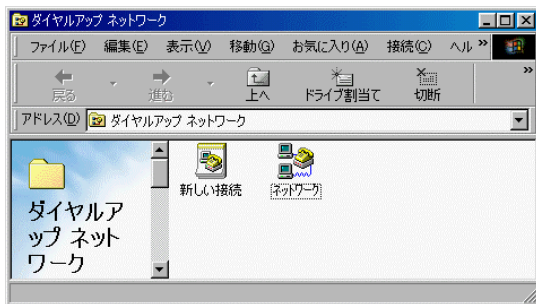
1. Windows98/95 にログオンする。

サーバーパソコンの着信接続で登録したユーザー名とパスワードを使って Windows98/95 にログオンします。ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

2. 初めて入力したユーザー名の場合、パスワードをもう一度入力する。

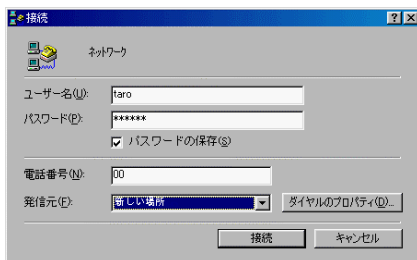
3. USB ネットワーク接続用のダイヤルアップアイコンをダブルクリックする。

マイコンピュータ内の [ダイヤルアップネットワーク] アイコンを開き、USB ネットワーク用に作成したダイヤルアップアイコンをダブルクリックします。



4. ユーザー名とパスワードを入力し、[接続] ボタンをクリックする。

サーバー側の着信接続時に登録したユーザー名とパスワードを入力します。電話番号が「00」になっていることを確認してください。



接続されると、タスクバーに [ダイヤルアップ] のインジケータが表示されます。

お願い

電話番号に市外局番も含まれているときは、以下のどちらかの対処を行ってください。

- ・電話番号を修正し「00」のみとしてください。
ただし、この方法は接続の度に修正する必要があります。
- ・[コントロールパネル] の [モデム] で、[ダイアルのプロパティ] ボタンをクリックし、現在の市外局番を正しく設定してください。

お知らせ

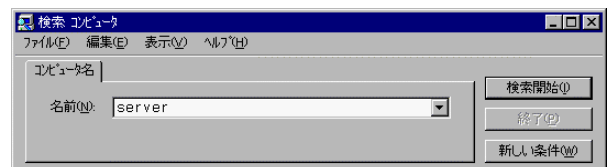
接続すると、サーバー側にもダイヤルアップインジケータが表示されます。

Step2 共有フォルダを使う

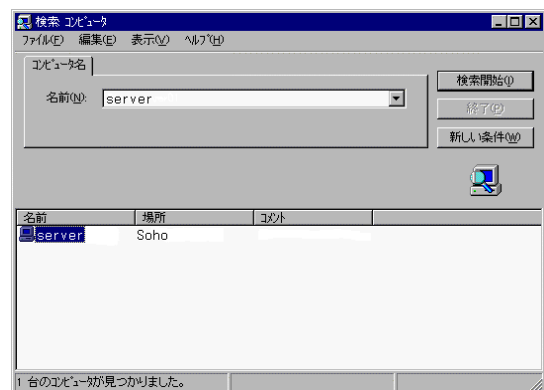
接続後、サーバーパソコンを検索して開くと共有フォルダを利用できます。

1. [スタート] [検索] [ほかのコンピュータ] を選択する。

2. サーバーパソコンのコンピュータ名を入力し、[検索開始] ボタンをクリックする。



3. サーバーが検索されたら、パソコンのアイコンをダブルクリックする。



4. 共有フォルダや共有プリンタが見える。

5. フォルダをダブルクリックする。

中のフォルダが見えます。デスクトップ上にコピーしたり、逆にクライアント側で作成したファイルやフォルダをここにコピーできます。

Step3 共有プリンタを使う

接続後、サーバーパソコンを検索して開くと共有プリンタのアイコンが見えます。最初に使用するときは、以下の手順でプリンタをネットワークプリンタとしてインストールします。

1. 「Step2 共有フォルダを使う」の手順 1~4 を行う。

2. 共有プリンタのアイコンをダブルクリックする。

3. [はい] ボタンをクリックする。

プリンタの追加ウィザードが起動します。

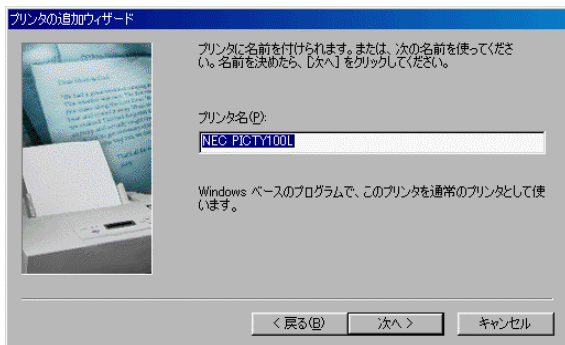
4. 通常は [いいえ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。

5. プリンタの製造元と機種名を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。

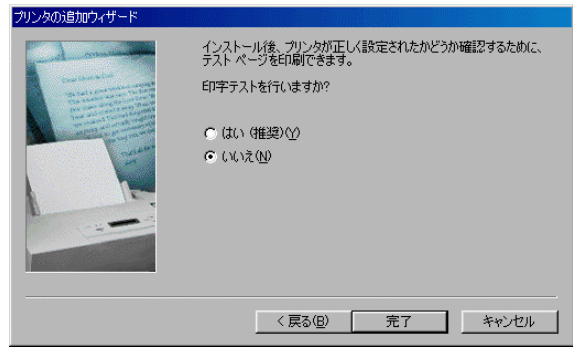
プリンタドライバのインストールディスクをお持ちの場合は、インストールディスクをセットし [ディスク使用] ボタンをクリックしてください。



6. 必要ならプリンタ名を変更し、[次へ] ボタンをクリックする。



7. [いいえ] を選択し、[完了] ボタンをクリックする。



8. Windows の CD-ROM 挿入メッセージが表示されたら、Windows の CD-ROM を挿入し、[OK] ボタンをクリックする。

9. [X] ボタンをクリックして閉じる。

必要なファイルがコピーされ、プリンタウィンドウが開きます。登録したプリンタは、ローカルプリンタと同様に使うことができます。

お知らせ

利用するプリンタのプリンタドライバが必要になることがあります。

Step4 ネットワークを切断する

ダイヤルアップ接続を切断すると、USB ネットワークが終了します。サーバーパソコン、クライアントパソコンのどちらからでも切断できます。

1. タスクバーの [ダイヤルアップ] インジケータをダブルクリックする。

2. [切断] ボタンをクリックする。

3. サーバパソコンが Windows98/95 の場合

3.1 パソコンの設定

3.1.1 サーバパソコン(Windows98/95)の設定

サーバパソコンは以下の順番で設定します。

- Step1 ダイアルアップサーバプログラムをインストールする
- Step2 Microsoft ネットワーク共有サービスをインストールする
- Step3 NetBEUI プロトコルをインストールする
- Step4 ダイアルアップサーバを設定する
- Step5 フォルダの共有設定
- Step6 プリンタの共有設定

お願い

- お使用の環境によっては、USB ネットワークを使うために必要なネットワーク関係のモジュールが既にインストールされていることがあります。その場合、新たにインストールを行う必要はありません。
- 標準以外のモジュールがインストールされていたり、バージョンアップを行った場合など、以降で説明する画面とは異なる画面が表示されることがあります。その場合は、実際の画面に従って作業を行ってください。

設定の詳細な手順については、取扱説明書を参照してください。

3.1.2 クライアントパソコン(Windows2000)の設定

クライアントパソコンは以下の順番で設定します。

- Step1 ワークグループ名を設定する
- Step2 ダイアルアップの接続先を作成する
Windows2000 では、ウィザードを使って、以下のネットワークコンポーネントのインストールや設定、ダイアルアップ接続させるための設定を一度に行います。
 - ・ Microsoft ネットワーク用クライアント
 - ・ NetBEUI プロトコル

お願い

- Windows2000 で以降の設定を行うためには、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンする必要があります。
- 標準以外のモジュールがインストールされていたり、バージョンアップを行った場合など、以降で説明する画面とは異なる画面が表示されることがあります。その場合は、実際の画面に従って作業を行ってください。

Step1 ワークグループ名を設定する

サーバパソコンと同じワークグループ名を設定します。パソコン名はサーバパソコンと同じにならないようにしてください。

設定の詳細な手順については、下記の所を参照してください。

「2.1.2 クライアントパソコン (Windows2000) の設定

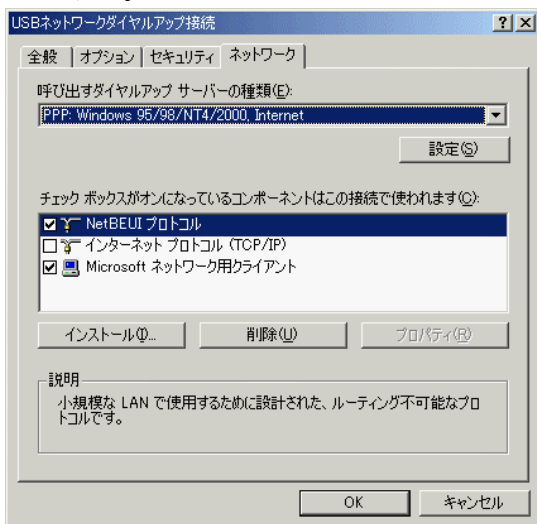
Step1 ワークグループ名を設定する」

Step 2 ダイアルアップの接続先を作成する

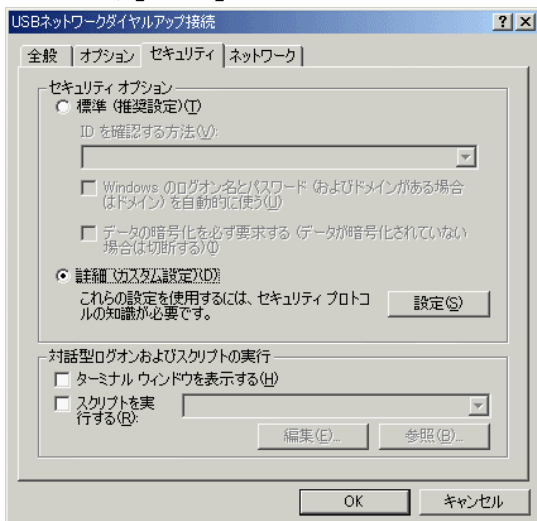
USB ネットワークのサーバに接続するためのダイアルアップ接続を作成します。

1. 「2.1.2 クライアントパソコン (Windows2000) の設定 Step2 ダイアルアップの接続先を作成する」の手順 1 ~ 15 を行う。

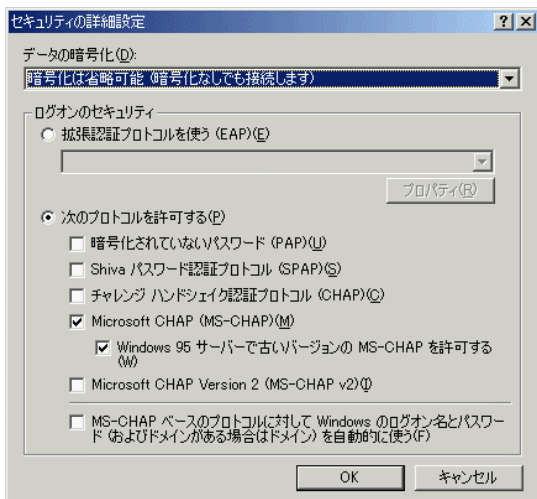
2. 以下の状態になったら [セキュリティ] タブをクリックする。



3. セキュリティオプションから [詳細 (カスタム設定)] を選択し、[設定] ボタンをクリックする。



4. [次のプロトコルを許可する] を選択し、[Microsoft CHAP (MS-CHAP)] と [Windows95 サーバーで古いバージョンの MS-CHAP を許可する] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする。
手順 3 の画面に戻ります。



5. [OK] ボタンをクリックする。

6. [キャンセル] ボタンをクリックする。



3.1.3 クライアントパソコン(Windows98/95)の設定

クライアントパソコンとして Windows98/95 を使う場合は、以下の順番で設定します。

- Step1 NetBEUI プロトコルをインストールする
- Step2 コンピュータ名を設定する
- Step3 ダイヤルアップネットワークの接続先を作成する

設定の詳細な手順については、取扱説明書を参照してください。

3.2 USB ネットワークの使い方-----

3.2.1 Windows98/95 Windows2000 構成

使い方の詳細な手順については、下記の所を参照してください。

「2.2.1 Windows2000 Windows2000 構成」

3.2.2 Windows98/95 Windows98/95 構成

使い方の詳細な手順については、取扱説明書を参照してください。